

(2) 特殊教育教育課程編成管理講習会

小学校及び中学校特殊学級並びに盲・聾・養護学校小学部、中学部の教育課程の編成、管理に関する講義、研究協議を実施し、教育課程の適切な運営が図られるようにした。

また、平成5年度から実施に移される中学校（中学部）学習指導要領及び平成6年度から学年進行で実施に移される高等部学習指導要領についても説明し、研究協議を行い、円滑に実施できるようにした。

部 会 名	期 日	会 場	人 数	参 加 対 象	
共 通 部 会	8月11日(火) ～12日(水)	養護教育センター	22人	教頭 (各校1名)	
盲 学 校 部 会	8月27日(木)	盲 学 校	8人	高等部関係 教員を主体 とする	
聾 学 校 部 会	9月22日(火)	聾 学 校	15人	〃 本校9、分 校各2	
精 神 薄 弱 養 護 学 校 部 会	8月24日(月)	養護教育センター	60人	〃 各校4～7 名	
肢 体 不 自 由 養 護 学 校 部 会	8月19日(水)	郡 山 養 護 学 校	24人	〃 郡山12、平 10、分校2	
病 弱 養 護 学 校 部 会	8月28日(金)	須 賀 川 養 護 学 校	14人	〃 本校8、分 校各2	
精 神 薄 弱 特 殊 学 級 部 会	県 北	8月20日(木)	東分庁舎	16人	特殊学級設 置校教頭又 は学級担任
	県 中	7月28日(火)	郡山市中 央公民館	16人	〃
	県 南	10月2日(金)	白 河 合同庁舎	10人	〃
	会 津 … … 南 会 津	8月17日(月)	会津若松 市立城南 小 学 校	12人 2人	〃
	相 双	8月4日(火)	原 町 福 社 会 館	11人	〃
い わ き	8月3日(月)	い わ き 合 同 庁 舎	16人	〃	

※ 共通部会については2日、その他の部会は1日の日程で実施した。

(3) 精神薄弱特殊学級学習指導法研究集会

期 日	期 間	会 場	参 加 人 数	
11月18日(水) ～19日(木)	2日	養護教育 センター	58名	児童又は生徒の実態 に即した効果的な学 習を行うため「充実 感を持たせる生活単 元、作業学習」「生 活に結びつく言語・ 数量指導」について の指導内容・方法の 研究と「望ましい校 内交流」について研 究協議を行った。

(4) 養護教育地域交流推進事業（県単事業）

① 趣 旨

障害のある児童生徒たちが健常児や地域社会の人々と交流活動を通して、経験や社会性を育むとともに、健常児や地域社会の人々に養護教育に対する正しい理解や認識を得るための事業である。

平成3年度より2年間にわたり、地域や学校の実態に応じた地域社会との交流活動や学校相互の交流を行い、成果をおさめることができた。

② 実施校及び協力校等

- 実 施 校
県立大笹生養護学校
- 協 力 校
福島市立飯坂小学校、福島市立大鳥中学校
- 地 域
大笹生、笹谷地区

③ 運営連絡協議会

- 委員 10名
会 長 県立大笹生養護学校長 野 中 恒 男
副会長 大笹生町内会連合会長 吾 妻 久 男
- 会 議
第1回運営連絡協議会 平成3年7月17日
第2回運営連絡協議会 平成4年3月3日
第3回運営連絡協議会 平成4年6月5日
第4回運営連絡協議会 平成5年3月10日

④ 実施状況

- 心身障害児や養護教育に関するアンケート調査
- 学校間交流（いも煮会、梨の袋かけ、マラソン大会、落葉拾い、だんこさし等）
- 地域住民との交流（地区運動会、清掃奉仕、ミニ門松作り、いちご狩り、稲刈り、もちつき会等）
- 啓発活動（「学校だより」を地域社会へ配布等）

4 研究指定校

(1) 心身障害児理解推進校（文部省指定）

- ・ 学 校 名
相馬市立桜丘小学校（協力校 相馬市立養護学校）
郡山市立片平中学校（協力校 県立聾学校）